

テーマ：エン反応を利用したアリル位炭素－水素結合の自在変換

近年、 sp^3 炭素を豊富に有する三次的広がりのある化合物が、従来の sp^2 炭素からなる平面な化合物に比べて新薬になりやすい事が報告されているものの、 sp^3 リッチな化合物群の合成は、キラリティーの精密制御を蓋然的に伴うことから一般に多段階を要する。本研究では、アザ-エン反応を利用したアリル位 Csp^3-H 結合の位置・立体選択的な官能基化法を開発し、現状では合成に多段階を要するキラルビルディングブロックを簡便に供給する基盤技術の確立を目指す。